



**「あらゆるしかたで、キリストが宣べ伝えられているのであって、
このことを私は喜んでいきます。そうです、今からも喜ぶことでしょう。」
(ピリピ1:18)**

長津田キリスト教会 牧師 須田 丈夫

長津田みなみキリスト教会が2013年11月に、長津田キリスト教会の株分け教会として設立し、早いもので3年半あまり経ちました。最終的に20数名を送り出した長津田教会には、当初、からだの一部を切り取られたような痛みがありました。また、長津田みなみ教会にも、切り離されたような痛みがあったのではないかと思います。しかし、初めから新しい一つの自立した教会として働きが進められ、イエス・キリストが宣べ伝えられていることを私は喜んでいきます。受洗者が与えられ、すでに会堂は手狭になってきているということです。主が長津田みなみ教会を祝福し、御業の中で用いていらっしゃることを見させていただき、御名を賛美いたします。3ヶ月に1度、両教会の役員連絡会を持ち、情報交換を行い、祈らせていただいています。共に長津田の地において宣教する教会が、これからも互いに祈り、協力していくことを願っています。

開拓教会報告

長津田みなみキリスト教会 牧師 油井 義昭

2013年11月10日(日)の開拓開始から3年7ヶ月が経過しました。現在、礼拝は24人位です。新来会者が殆ど来ないのが実情です。昨年9月25日の教養セミナー「歴史を生きたキリスト者—杉浦千畝」に3人の新来者が来ました。12月23日(金)のクリスマスの集いは2人の新来者でした。2017年4月9日の「歴史を生きたキリスト者に学ぶ—三浦綾子」に3人の新来者が来ました。教会は2016年に教会連合に加盟を許され、宗教法人申請を始めました。今年の4月16日のイースターに春山禮子姉が受洗しました。開拓教会が荒地で主に喜ばれる伝道が出来るようにお祈り下さい。

開拓への思い

岸部 恵三歌

私は今から約15年前、23歳の時に東京のとあるプロテスタント教会で洗礼を受けました。私の家族はクリスチャンではなく、教会に通っている友人などいませんでした。たまたま自宅のポストに投函されていた教会の案内チラシが目に入り、礼拝に参加したことが教会生活の始まりです。それまで寄る辺のない生活を送っており、将来を悲観していた私ですが、聖書を学び救われたことでその後の人生がガラリと変わりました。

「神様と共に生きる喜びを一人でも多くの方に知って頂きたい。」その想いで当教会の開拓伝道活動に携わっています。この地域近隣にも福音に触れたことのない方が大勢おられます。教会に導かれ、救われる方が起こされることを強く願います。

受洗その後

春山 禮子



神におまかせしているので、いつ死の瞬間が訪れても良いと思えるようになりました。しかし本当に瞬間的にその場面が訪れたら、あわてふためいて人をも押しつけてしまうかもしれませんが…。全てを委ねてるのですから心配せず良き人として生きれば良いと感じますが、それは何と難しいことでしょうか。人の立場、活動に焼餅やいたり悪口を聞くと聞き流せず「ソーね。私もそう思う」など口が動き出したくなる悔いの日々をすごしています。

牧師御夫婦との学びでは、まるで受験勉強のように頑張りました。けれど、今は合格してホッとしたような気分でのんびり、亀の歩みの様な聖書の学びになりこれも反省です。

今まで多くの皆様のご指導のもとで受洗できましたが、今後も良きクリスチャンとなるよう皆様のご指導して下さいをお願いいたします。

1939年(今から78年前) 第二次世界大戦のさ中、リトアニアの日本領事館の領事代理の際、外務省の命令に背いて自分の意志で日本通過のビザを発給し続け、6000人のユダヤ人の命を救ったのです。杉原の心を動かしたものは一体何だったのでしょうか。それは人間にとって一番大切な「愛と人生」であると常日頃考えていた彼は、学生時代ロシア正教の信者となり、「私は生涯キリストに従う人生を送ります」と、言葉通り実践したのです。「命のビザをありがとう」「スギハラ、私達はあなたを忘れない」「もう一度あなたにお会いしますよ!」ビザというたった1枚の紙切れがユダヤ人の方々の人生を変えたのです。そして命の重さを杉原自身家族と共に痛感した事でしょう。私達もキリスト者として小さな事でも実行に移す勇気が平和への第一歩につながるのではないかと、考えさせられたセミナーでした。

第7回教養セミナー「三浦綾子」 2017.4.9

関 和夫

私が初めて、三浦綾子の作品に出会ったのは、映画「塩狩峠」を見たときでした。鉄道員の主人公が、乗り合わせていた列車の最後尾が外れ暴走したところ、身を投げ出して列車を止めたことが実話から来ていることに、衝撃的でした。

(補足 塩狩峠は、緩やかな峠です。最後尾に列車を押し汽車をつなげなかったことが、この悲劇につながったといえます。)

このセミナーで、改めて、その純粋さに驚かされたこと、その純粋さが故に、大人の身勝手から起きた戦争を始めとした時代に翻弄され、ついには、教師を辞めるほどの虚無感になったこと。その後の病氣、また、数多くの病氣を抱えながらの多くの作品を書き続けたことが、印象的でした。

また、最後に塩狩峠に戻りますが、映画の中の主人公の信夫と婚約者のふじ子が、三浦夫妻をモデルにしているのは分かっていましたが、脇役の「三堀」が、三浦綾子の旧姓、堀田 綾子の「堀」から来ていることには気づきませんでした。



～行事予定～

- 7/25 (火) 教会学校 夏のおたのしみ会
- 8/27 (日) 教会学校 アイスcreamパーティ
- 9/10 (日) 第8回教養セミナー
歴史を生きるキリスト者に学ぶ「マルチン・ルター」
- 10/28 (土) バザー
- 11/25 (土) チャペルコンサート
- 12/23 (土・祝) 子どもクリスマス会、クリスマスの集い
- 12/24 (日) クリスマス礼拝

～会堂会計～

<収入>	内部献金	約455万円
	(一般会計からの繰入を含む)	
	外部からの献金	約178万円
<支出>	教会債返済	約590万円
	期末残高	約304万円
	教会債残高	約1,370万円

教会学校報告

教会学校ではなかなか出席者が与えられず、教師で礼拝を持つことが続いています。今年4月から月に一度、サンデーキッズと名付けて、日曜日の午後C Sを持つ試みを始めました。朝の出席が難しいお子さんも来てくれるようにと願っています。週2回の英語クラスに集う合わせて7人の子どもが、聖日のC Sにつながりますようにお祈り下さい。

祈りの課題

- ・長津田南部の地域伝道のために。
- ・新来者が与えられるように。
- ・教会学校に子供が与えられるように。
- ・教会堂購入費(教会債1370万円)の返済のために。
- ・宗教法人申請のために。

いつも、尊い献金およびお祈りありがとうございます。

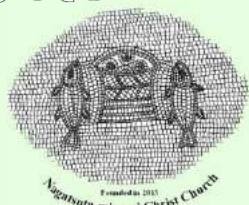
皆様の御協力により、設立当初 3,000万円あった教会債も半分以上の返済が出来ましたが、引き続き、ご支援及びお祈りを願います。



<交通アクセス>



発行者: 長津田みなみキリスト教会ニュースレター発行委員会
 連絡先: 〒226-0028 神奈川県横浜市緑区いぶき野 23-16
 TEL&FAX: 045-532-5572
 Eメール: nagatsuda.minami@gmail.com
 ホームページ: <http://www.nagatsutaminamichurch.com>
 献金窓口: 郵便振替 00210-7-51559



いつもお祈りと献金で
 支援して下さい
 心より感謝いたします。